

事業所名

ウェル恵明会株式会社

支援プログラム

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念	① 障害という既成概念をなくすこと ② 決められた教育よりも共育を ③ 一人ひとりの個性を最大限引き出すこと（常にチャレンジ）				
支援方針	共に学び、個性を引き出し、地域と協力しながら安全で安心な支援を提供します。 学校や家庭とは異なる時間・空間・人・体験を通じて、個別の発達支援と保護者支援を実施し、共に育む「共育」の実現と地域連携を目指します。				
営業時間	月～金	9 時	0 分から	18 時	0 分まで
	土日祝	8 時	30 分から	17 時	30 分まで
	送迎実施の有無		あり なし（送迎範囲については応相談）		
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康の増進 基礎運動を集団活動に取り入れ、体力の維持と運動能力の向上を支援する。健康生活の基本となる体づくりを行う。 基本生活スキルの獲得 整理整頓（片付け）の習慣をつけるための時間を確保し、効率の良い生活を送るために必要な基本的技能を獲得できるよう支援を行う。 生活環境の構造化 個別活動や集団活動で、全体の状況や流れを学習できるよう環境を整え、障がい特性に合わせてタイミングや状況を「見える化」する。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の向上 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図る。 保有する感覚の総合的な活用 視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊具や器具を使った遊びなどを通して支援を行う。 タイミングやバランスの感覚、方向感覚の習得 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発達と行動の習得 視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して必要な情報を収集しやすいよう支援を行う。集団活動やグループ活動で、活動内容から情報を取得しやすいよう「見える化」する。 空間・時間・数等の概念形成の習得 数量の予測、大小の選択、色の認知について等を、各々の特性に合わせた支援を行う。 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 認知の特性を踏まえた用具を用い、自分に入ってくる情報を適切に処理し、自ら選択して安全に正しく行動できるよう支援する。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語の形成と活用 集団活動の中で発表の機会を設ける。具体的な体験や言葉の意味を結びつけるなどにより、体系的な言語の習得、自発的な発言を促す支援を行う。 言語の受容及び表出 自主学習やレクリエーション活動を通して読み書き能力の向上を目指す。ひとりひとりの能力に合った読みの向上を目指す支援を行う。 コミュニケーション手段の選択と活用 遊びを通して意思の伝達が円滑にできるよう支援を行う。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関わり（人間関係）の形成 話す、聞く、ふれあい等のコミュニケーションを通じて、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 自己の理解と行動の調整 特性を理解し、ひとりひとりに合わせた声掛け支援や行動支援を行い、自分の行動の特徴を理解し、気持ちや感情の調整ができるように支援する。 仲間づくりと集団への参加 個別活動からグループ活動へ順に進め、ひとりひとりの状況や状態に合わせて集団活動への参加を促す。 受け入れる側（集団）の児童に対して、相手の気持ちや状況などを理解するための話し合いや声掛け支援を行い、安心して集団へ参加できるよう支援する。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有と協力 家族との情報共有や協力を重視し、子どもの発達状況や支援内容について定期的に報告を行う。 家族のニーズに応じた支援を提供し、家族が安心して子どもを預けられる環境を作る。 保護者向けのワークショップ 保護者向けのワークショップやセミナーを実施し、子どもの生活スキル向上やコミュニケーションスキル向上などを目指す。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域機関との連携 地域の様々な業種・法人等と連携し、子どもの総合的な支援を提供する。地域のリソースを活用して、子どもと家族のニーズに応じた支援を実施する。 地域イベントへの参加 地域のイベントや活動に参加または主催し、子どもが地域社会の一員として参加できる環境を作る。地域住民との交流を促進し、子どもの社会性の発達を支援する。 				
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 将来を見据えた支援 子どもの将来的な移行（進学や就労）を見据えた支援を提供する。具体的には、移行先の環境に慣れるための準備や、必要なスキルの習得を支援する。 ライフステージの切替え ライフステージの切替えを見据えた支援を行い、移行支援や成人の事業所への移行支援などを提供する。 他団体との連携 移行先（進学や就労）また他法人との連携を行い、社会資源の活用や情報共有、また支援の継続性をもった児童本位のより良い移行支援を提供する。 				
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修 職員に対して定期的な研修を実施し、子どもの発達を支援するための最新の知識やスキルを提供する。また、身体拘束・虐待防止・防災・健康推進に関する研修など。 外部研修の活用 外部の研修機関や他機関との連携を通じて、職員のスキルアップを図る。 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> イベントの開催 季節ごとのイベント（運動会、秋祭り、餅つき大会など）を実施し、子どもが季節感を感じる環境を作る。 地域との交流イベント（アート展、農業体験など）を実施し、子どもが地域社会の一員として参加できる環境を作る。 				